

トラヴェリング・ウィルベリーズ・コレクション ／トラヴェリング・ウィルベリーズ

RELEASE

発売中

結構出ない名盤って多いんだよな～。 で、廃盤復活…ブックレット&DVD付！

ジョージ・ハリスン、ボブ・ディラン、ジェフ・リン、ロイ・オービソン、トム・ペティによる「覆面バンド」、トラヴェリング・ウィルベリーズ。

「よくもこんな面子が集まって…アルバム出していたのかよ…」って感じてしょ。で、決まってるよ。この凄惨な企画モノは、その時は良いんだけど、今となっては権利もへったくれもなく廃盤状態…。だったものが、リリースされていた2枚を1パックにして、さらに豪華ブックレット&DVD付きで復刻である。

通販番組で「思い出の…」てな感じの〇枚組を買うのもいいけれど、ロックがロックとしていい意味で熟成していた音を、ちゃんと聴きたいと思うのなら、迷わず買いでしょ。聴いたことがある人も、無い人も。

これって企画モノとはいえ、ディランがバンドのメンバーというポジションなのが凄んだよな～。ちなみにジョージ・ハリスン、ロイ・オービソンは故人。

(袖岡保之／本誌)

■トラヴェリング・ウィルベリーズ・コレクション
／トラヴェリング・ウィルベリーズ
■WPZR-30237/39
■4200円



© Neal Preston

寄席「野菜家牛丸亭」

EVENT

9.27
(Thu)

京都の街場に寄席がまたひとつ誕生。 お肉と高座のライブ感を味わいましょう。

泣く子も黙る宇治は小倉の焼肉店「海雲亭」の新店、と言えば本誌でもお馴染み「野菜家牛丸」。「林家塩丹(塩タン)」、「春風亭ハラミ(ハラミ)」といった具合に落語家をモジった品書きが並び、楽しませてくれるのだが、どうやら本当に同店主催の寄席を始めてしまったらしい(その柿落しの模様はP41をご覧ください!)。オーナーの金さんと桂春菜さんの交友から実現した落語会「野菜家牛丸亭」は、柿落

しの好感触を得て、早くも次回の寄席が決定! 世間では「タイガー&ドラゴン」の放送以来、ググッと落語への関心が広がった感があるし、京都の街場じゃそれ以前から「錦湯」の湯快寄席や「かねよ」のうなぎ寄席などが開かれている。ブームに淘汰されない落語の魅力にぜひ触れてみてほしい。何はともあれ、寄席「野菜家牛丸亭」は限定100席、申し込みはお早めに。(坂東寛士／本誌)

■寄席「野菜家牛丸亭」
■2007.9.27(Thu)
■OPEN19:30/START20:00
■1500円(1ドリンク付き)
■出演:桂春菜ほか
■問い合わせ:サラダと焼肉の店 野菜家牛丸
宇治市小倉町堀池7番地58
0774-21-8318



フラダやヴィンソン、ビッグブランドを一つでも持つと安心するものが京都人気質と言われる。実は京都は外車比率が高い都市でもある。これもブランド論、安心感理論なのだろうが、どうも京都を走る外車はマナーが悪いドライバが多い。無謀な割り込みや違法駐車というお行儀の悪さは何とかならないものか。それこそ茶道や華道に代表される礼節つものとは真反対で、おおよそ京都に似合わないと思うのだ。「メルセデス・ベンツ」は「成功者の象徴」と言われる。確かに、それなりの風格漂う人の生活に「メルセデス・ベンツ」が加わると、化学反応を起こすように煌きを放つ。そういう風にあの車はできて乗る車でもないし、「乗ってる(持っている)安心感」だけで乗られる車も迷惑だろう。



趣味・趣向を一眼で表すものになった。そのことは自動車の発明者カール・ベンツも意図していなかったのではないだろうか。京都人のライフスタイルを一概に語るつもりはないし、外車特にも大型の(が権威の象徴というの)が降りてきたら、私などはグッと来るんだが、

京都人は、外車がお好き?

Kyoto Car-Moratorium

~京都人のクルマ知らず~



6th Lap to go



© QUATRE ILLUSTRATION

中島 崇(なかしまたか)
68年生。自称「車選びのソムリエ」。創業昭和38年。北区は紫野の自動車屋(株)中島商会の二代目社長にして安くてもいい車を探そうと、シャリスト、かつて自動車オークションの取引で2000万円をドブに捨て、大失敗の経験から学んだノウハウをまとめた無料小冊子「その車に手を出すな」も好評。中島流「車運業者」を目標とする。人